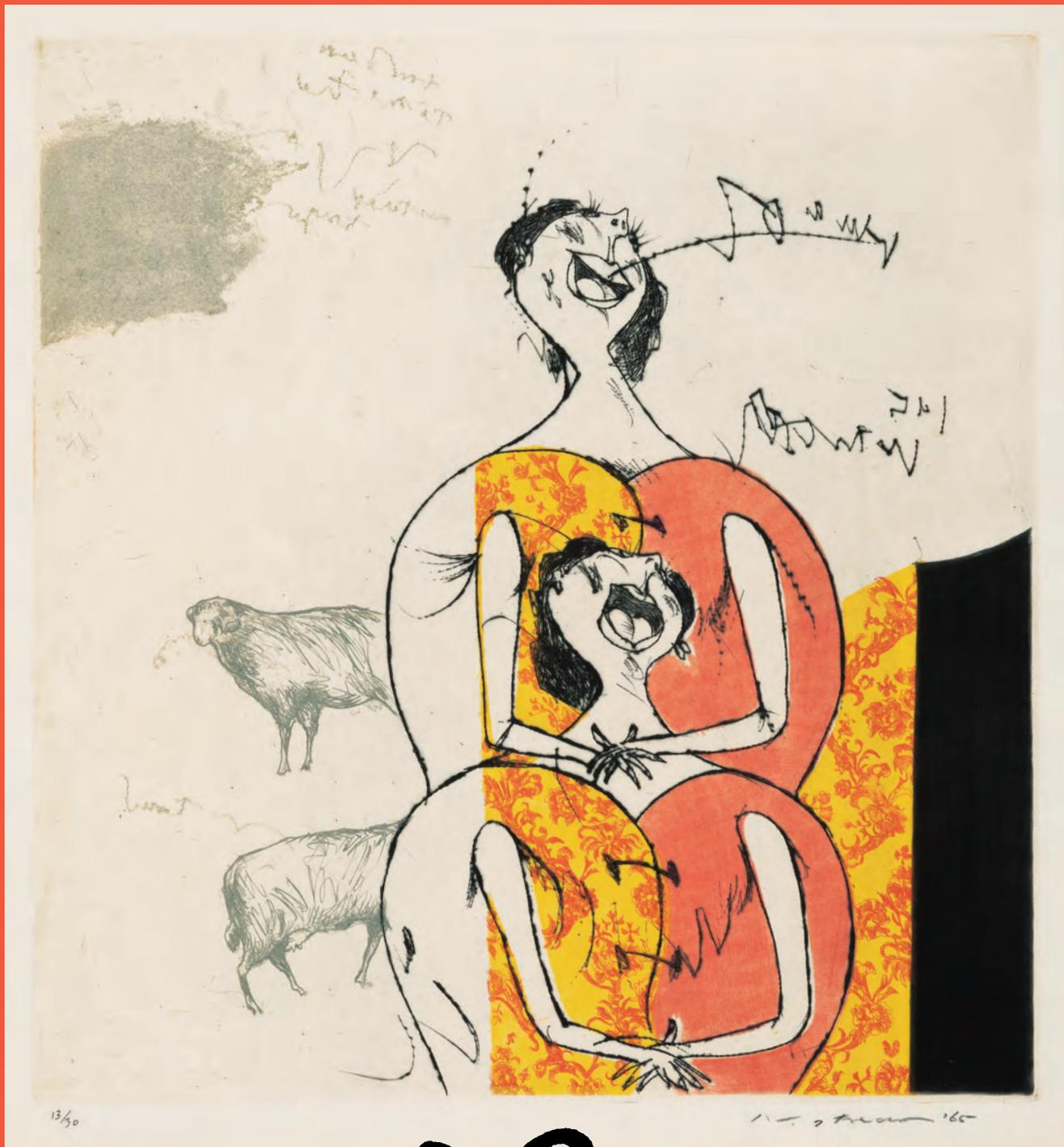


池田満寿夫とデモクラートの作家



とたつび とたつび

Moments to Fly Up
Ikeda Masuo and the Demokrato Artists

2024

1.20 SAT 3.17 SUN

[前期展示]~2月18日 [後期展示]2月21日~

広島市現代美術館

Hiroshima City Museum of Contemporary Art



休館日：月曜日 ※ただし、2月12日(月・祝)は開館、2月13日(火)は休館。また、2月20日(火)も展示替えのため休室します。 開館時間：10:00~17:00(入場は閉館の30分前まで)

観覧料：一般 1,100(850)円 / 大学生 800(600)円 / 高校生・65歳以上 550(400)円 / 中学生以下無料 ※()内は前売りおよび30名以上の団体料金

主催：広島市現代美術館 後援：広島県、広島市教育委員会、中国新聞社、朝日新聞広島総局、毎日新聞広島支局、読売新聞広島総局、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、

広島ホームテレビ、広島エフエム放送、尾道エフエム放送 協力：和歌山県立近代美術館

Moments to Fly Up: Ikeda Masuo and the Demokrato Artists

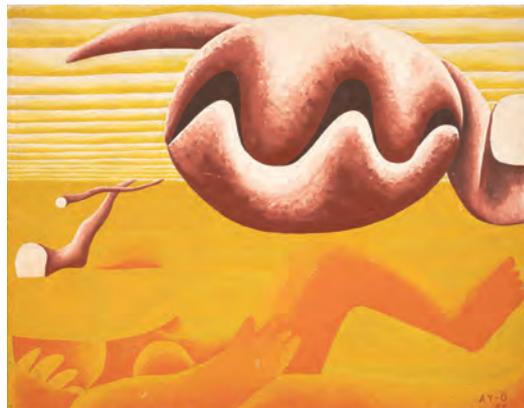
1



2



3



4

5

6

7

池田満寿夫

(1934-1997) は旧満州国・奉天で生まれ、終戦の年に父母とともに長野に引き揚げました。高校を卒業後、画家を目指して上京し、靨嘔を通じて、デモクラト美術家協会を率いた瑛九や美術評論家で「創造美育」運動の主宰者であり、版画のコレクターでもあった久保貞次郎に出会います。

デモクラト美術家協会は、主に東京と大阪で活動していましたが、「既成画壇に出品しないこと」が唯一の参加条件で、制作に自由を求める多くの作家が参加しました。池田もその一人でしたが、瑛九から銅版画を習い、久保の後援によって版画制作に打ち込みました。

戦後、国力を回復しつつあった日本は、初の国際現代美術展として1957年に第1回東京国際版画ビエンナーレ展を開きます。池田をはじめとするデモクラトの作家が同展に出品入選し、彼らの飛躍のきっかけとなりますが、一方瑛九はデモクラトの解散を決めます。しかし、若い作家たちは版画の可能性に目ざめ、旺盛な創作活動を見せ、なかでも池田は、1966年にベネチア・ビエンナーレで版画部門の国際大賞を受賞するなど、国際的に評価されるようになりました。

この展覧会では、没後四半世紀を経た、当館が所蔵する池田作品のうち、1950年代から1966年頃までの作品とともに、池田が影響を受け、また交友のあった作家の作品により、当時、世界から注目された彼らの版画と油彩画を振り返ります。

出品作家

池田満寿夫／靨嘔／泉茂／磯辺行久／瑛九
加藤正／利根山光人／船井裕／吉原英雄

1. 利根山光人〈子供のいる風景〉1957 リトグラフ 和歌山県立近代美術館蔵／2. 瑛九〈自転車〉1956 油彩 和歌山県立近代美術館蔵／3. 池田満寿夫〈私の詩人・私の猫〉1965 ドライポイント、ルーレット 当館蔵／4. 吉原英雄〈いやな野郎〉1957 リトグラフ 個人蔵／5. 泉茂〈しゃも〉1957 油彩 和歌山県立近代美術館蔵／6. 加藤正〈第2回「デモクラト美術展」ポスター〉1953 リトグラフ 和歌山県立近代美術館蔵／7. 靨嘔〈倦怠〉1955 油彩 個人蔵

● 関連プログラム

講演会「池田満寿夫 人と芸術」

1月27日(土) 14:00～15:45

講師：横山勝彦(呉市立美術館館長) 定員80名(先着順)

館長によるギャラリートーク

2月10日(土)、3月2日(土) 14:30～15:15

要覧覧会チケット、申し込み不要

アートナビ・ツアー (アートナビゲーターによる展示解説)

毎週土・日・祝 各日11:45～12:15 / 14:45～15:15

(講演会・ギャラリートーク開催時は除く)

要覧覧会チケット、申し込み不要

● 同時開催

コレクション展

2023-II コレクション・ハイライト+コレクション・リレーションズ

「ゲスト・アーティスト：小森はるか+瀬尾夏美」

11月25日(土)～4月7日(日)

オープンプログラム

「再現場」11月3日(金・祝)～3月17日(日)

「ネオ漫画を読もう」11月3日(金・祝)～3月17日(日)

● 前売券発売所

広島市現代美術館受付、オンラインショップ「339」
チケットぴあ(Pコード:686-764)

■ 交通案内

◎ 広島駅から

[路面電車] 5番「広島港」行き▶「比治山下」下車、約500m

[バス] まちのわループ(右回り)もしくは「大学病院」「旭町」「県病院」行き

▶「段原中央」下車、動く歩道「比治山スカイウォーク」経由で約700m

[タクシー] 約10分

◎ 紙屋町または八丁堀から

[バス] 紙屋町(県庁前)バス停または八丁堀(ヤマダ電機前)バス停

広島バス(23-1番系統)「大学病院」行き(比治山トンネル経由)

▶「段原中央」下車、動く歩道「比治山スカイウォーク」経由で約550m

◎ 市内各所から

[市内循環バス] 「ひろしまめぐり〜ぶ」(オレンジルート)

▶「現代美術館前」下車、約100m

[広島市シェアサイクル] 「びーずくる」▶「比治山公園」ポートより約100m

■ 駐車場

美術館専用の駐車場はありませんので、周辺の駐車場をご利用ください。

① 比治山公園内(約120台分、無料、利用時間9:00～19:00)

② 広島段原ショッピングセンター駐車場

(1F サービスカウンターに当館の入館証明提示で当日に限り3時間無料)



広島市現代美術館

Hiroshima City Museum of Contemporary Art

〒732-0815 広島市南区比治山公園1-1

tel.082-264-1121 fax.082-264-1198

www.hiroshima-moca.jp

県美×現美×ひろ美 相互割引

「とびたつとき 池田満寿夫とデモクラトの作家」会期中に広島県立美術館、ひろしま美術館で開催される特別展チケット(半券可)を受付に提示いただくと、観覧料が100円割引になります。
※1枚につき1名限り、他の割引との併用はできません。

車いす、ベビーカー、ベビーカールーム(授乳室)、だれでも多目的トイレがあります。
託児サービス(要事前予約)についてはお問い合わせください。